

優秀賞 「おいしくなるまほう」

橿原市立耳成小学校 1年 向井 倅都

おとうさんが「たべものがおいしくなるまほうがあるで」といいました。でもどんなまほうかおしえてくれないので、おかあさんにききました。おかあさんは「よくあそんでおなかをペコペコにするのかな」といいました。たしかにプールのあとは、もぐもぐたべることができます。

おばあちゃんにもききました。おばあちゃんは「じぶんでそだてたやさいをたべるのかな」といいました。おばあちゃんがつくったおやさいはとてもおいしいとおもいます。いもうともプチトマトをとってたべるのがだいすきです。

がっこうのせんせいにきいてみました。せんせいは「みんなでたべるきゅうしょくはおいしいね」といいました。わたしはきゅうしょくがすきだし、みんなでたべるのが大すきです。

でもこれってまほうなのかな。こんがらがってきたので、おとうさんにききました。「たべものがおいしくなるまほうってなに」というと「それは「いただきます」やで」とおとうさんはいいました。「いただきます」は、たべものをそだててくれたひとや、おみせのひとや、りょうりをつくってくれたひとにかんしゃして「ありがとう」のきもちをあらわすことばだとおとうさんはいいました。

わたしはぶたにくがあまりすきではありません。だからいつもよりおおきなこえで「いただきます」をいってたべてみました。ちょっとだけおいしくなったようなきがしました。でもこんどはもうちょっとおおきなこえで「いただきます」をいってみたいとおもいます。